

# さいたま川柳

第51回 さいたま川柳大会号



雲形

## 巻頭言

さいたま大会・誌上大会ということ

願法みつる

さいたま大会は、五月十七日（日）、青葉の好天の下、無事挙行されました。皆さまの笑顔が素敵でした。遠路お出かけ頂いた方も多く、誠に有難う御座いました。

一方、誌上大会の部でも、久々の数を超えるご応募があり、実に広範な地域からの柳人に接することが出来ました。驚きとともに、ただただ感謝の気持ちで一杯です。

誌上大会の清記作業で気がつきましたが、矢張り課題の作句姿勢に地域性が顕著でした。課題の詠み込みと詠み込みの傾向別です。その可否論は別として、広域からの応募者を受け止める担当としては、課題の設定に配慮の必要性を実感しました。

大会では、選者方による投句をナシにしたり、表彰の着到順制をヤメたり、従前の吟社大会の在り様から少しばかり変革を試みました。どのようなご批評やご批判が届くことか、真摯に受取るつもりです。

ホールに展示した月刊誌巻頭句による映像吟写真と、句会席題の印象吟による三才句写真のパネルが、ご来場者から好評を得たようです。来年も継続する予定です。是非見物においでください。

ようやく半世紀の歴史を超えた大会ですが、体力の限りは継続する覚悟です。ご意見を賜れば幸いです。

## 日日是好

願法みつる

てにをはを変え人生の目眩まし

マスコミの悪賢さに教えられ

親真似て悪というなら神を問う

考えた末悪いのは蛇だらう

ロボットが隣の庭を誉めちぎる

検察が敗訴ロボット無罪論

莫迦ひとり明日ある嘘を夢見てる

人情のお喋りがあり小商い

真実をたんまり持って行く浄土

平成27年

7月号 (No.668)

日川協加盟